

世田谷村日記

石山修武

十二月一日

朝杏林病院定期検診。午後研究室。十六時中央工学校講演。十
九時前修了後、生涯学習室石井さん、田中氏と会食。中央工学校
は田中角栄ゆかりの専門学校の名門である。色々と努力されてい
るのに驚く。早稲田の芸術学校も見習うべき点が多いと感じた。
何か共同で出来ると良い。二十三時世田谷村に戻る。

十二月二日

朝九時ブルータス取材。井出君、カメラマン山田君来る。早速
屋上に上る。インタビューと写真撮影。若い人と話すのも仲々良
いものだ。空もおだやかで、和やかな時間であった。今夜李祖原
来日の予定。

午後研究室。夕方渡辺と新宿で雑談。二十一時半世田谷村に戻
る。渡辺が考案しつつあるバーチャル舞台装置のプロジェクトは
面白そうだ。建築デザインのある側面を拡張してゆく芽になるか
も知れない。彼のチームはいい勉強になるだろう。期待したい。
最低六件位の演劇空間をデザインする必要があるだろうな。

十二月三日

午前中、ANYの原稿グラ校正。山口勝弘インタビュー校正。
山口勝弘インタビューはとても面白い。もう一つ入れて第二冊目
を作れるだろう。一冊目の「スーパージギエの旅」山口勝弘
インタビューの評判も良いようだ。徹底的に私的な対話世界から

いきなり広い世界、宇宙が視えるような本になってゆくと良い。

午後、来日した李祖原教授と研究室で再会。北京モルガンセン
ターの進行過程を聞く。結論は、なにしろ北京市ともめにもめて
いる計画のようで、今はモルガンセンターオーナーの郭活伝と北
京市長の政治的攻防になっているとの事。李祖原は当然ながら、
全体を見渡していて、問題は無いとの事。ただ、北京モルガンセ
ンターのサイトが二〇〇八年の北京オリンピックサイトのまさに
背景なので、二〇〇米のタワーをカットダウンしろとかの、北京
市の政治的思惑と厳しく対立している最中であるとの事。日本サ
イドでは北京モルガンセンターについて余り思わしくない情報が
流れているが、それは仕方のない事だろう。李祖原にとっても中
国本土で重要な仕事であるし、彼の未来もかかっている。色々
あるだろうが前に進めるだけの事だ。李と共に北京の郭活伝と電
話で話す。勿論、ノープロブレムだ。おまけにドントウオーリーな
んて言われてしまう。十七時前新宿で李祖原と会食。十九時修了。
帰りがけに李のパートナーであるアンにバッテリー出合い、再び李
と、ヤアヤアという事になった。明日、又ね、と別れる。